

脳神経外科の紹介



脳神経外科
主任部長 増岡 徹

Masuoka Toru

最新の脳梗塞治療を含めて

関係各位の皆様には、平素より大変お世話になっており誠に有り難うございます。この度は、市立砺波総合病院脳神経外科をご紹介させていただきます。

現在、脳神経外科は、伊東正太郎、濱田秀雄、増岡徹、林智秀、加茂徹大の常勤5名及び非常勤1名で診療を行っております。

富山県内の脳神経外科医が減少したため、富山大学附属病院に次いでのが人数が在籍し、砺波市、南砺市、小矢部市、高岡市の福岡、戸出、岐阜県白川郷までの広範囲の地域の脳神経外科疾患全般をカバーしております。

今回は、脳梗塞に関して、最新の治療を簡単に説明させていただきます。

脳梗塞を発症してしまった場合には一刻も早く治療を開始することが大切です。脳細胞を栄養する血管が閉塞し、脳細胞が完全に壊れるには、数時間かかります。脳細胞が壊れる前、すなわち、数時間以内に閉塞した脳血管を再開通させることが出来れば、脳梗塞にならなくて済むというわけです。

2005年よりt-PA（アルテプラゼ）という薬が、日本でも認可されました。t-PAは、今までの薬以上に血栓を溶解する作用が強い薬です。しかしながら、発症より4.5時間以内にt-PAの投与を開始する制約がありました。また、例え治療を行っても血管を再開通できる割合は約30%程度でした。このため、最新の治療として、t-PA治療後、足の付け根より、カテーテルを挿入し、閉塞した脳の血管に運び、閉塞した血栓を直接、ステントに絡めて吸引除去する血管内治療が推奨されることとなりました。この血栓回収術により、さらに閉塞血管の再開通率が上がり、脳梗塞に至る割合も減少しました。

また、血栓回収術は、4.5時間の縛りがなく、MRIなどにて広範囲の脳梗塞を来していない場合、行うことも可能です。ただ、治療を早く行うことは大事であり、このためにも、かかりつけ医であられる先生方との連携が必要と考えております。

地域の患者様のため、昼夜・週末問わず、脳卒中治療を行いたいと考えております。いつでも連絡して頂ければ対応させていただきます。

今年も変わらず、温かいご支援を頂けたら幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



外来担当一覧

8:30~11:00		月	火	水	木	金
午前	初診	濱田	増岡／濱田	濱田	増岡／林	増岡
	再診	増岡	大橋	—	濱田	濱田

緩和ケア科の紹介

緩和ケア科 部長 加登 大介

Kato Daisuke

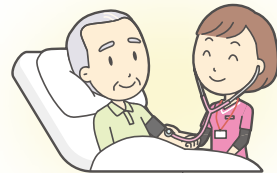
当科の診療体制とコロナ禍での現状

砺波医療圏のがん診療連携拠点病院である市立砺波総合病院では、各診療科が連携して最先端のがん治療を行っているほか、がんに関係するその他の専門外来として緩和ケア外来やリンパ浮腫外来を開設し患者さんのQOL向上に努めています。さらにがん相談支援センターでは、患者さんや家族の不安や疑問に丁寧に対応し、主診療科だけでなく各部署が有機的に機能することで、安全・安心でかつ質の高いがん治療を地域住民の方々にお届けしております。

緩和ケア科では、新たに2021年10月より赴任した緩和医療専門医が『緩和ケア外来』を定期的に開設し（月・金）、同科所属の緩和ケア認定看護師と共に、がん患者さんの面談と診察を行っています。緩和ケア外来では、苦痛の正確なアセスメント、苦痛に対する優先順位づけ、最適な薬物療法やチームアプローチ、などに重点を置いて症状緩和を図るほか、生活上の悩みなどもお聞きして、必要に応じ該当部署にもお繋ぎしています。緩和ケア外来受診の際は当院の主治医からの紹介が必要ですが、状況に応じて地域からのご相談にも対応いたします。

また緩和ケア科のスタッフは『緩和ケアチーム』のコアメンバーとして、がん治療医や精神科医、がん看護専門看護師・各種認定看護師、薬剤師、臨床心理士および鍼灸師などと協働し、入院中の患者さんのケアにも従事しています。特に終末期がん患者さんには多く関わっておりますので、そのような患者さんが自宅療養される場合には、当科からも先生方に情報提供を行います。その場合、退院後に症状等のことでお困りのことがありましたら、当科までご相談ください。また当院で療養されることを望まれる方のために『緩和ケア科の専用病床』もあります。こちらは症状コントロールのための一時的な利用、看取りを含めた終末期の利用、いずれも可能です。

近年はオピオイド製剤も多様化し、緩和ケアの分野でも専門的な知識が求められることが少しずつ増えてきているように感じております。今後は地域の先生方からのご相談やご質問にも適切にお応えできるよう診療体制を整備し、最終的にはより多くの患者さんに緩和ケアが行き届き、ご本人らしく過ごせる機会が増えることを目指して、活動して参ります。



外来担当一覧

8:30~11:00	月	火	水	木	金
午前	加登	—	—	—	加登

新任医師紹介



緩和ケア科

か と だい すけ
部長 加登 大介

① 21年目 ② 野球・マラソン

③ 主にがんによる苦痛の緩和が専門です。それぞれの方の目標を尊重したケアを提供し、患者さん・家族の暮らしを支援します。



精神科

し ま じゅんいちろう
医員 志摩 純一郎

① 6年目 ② 読書

③ 少しでも心軽く自分らしく生活頂けますよう、精神医学的にサポートできればと思います。宜しく願いいたします。



連携医療機関のご紹介



井上内科医院

(内科 胃腸内科 循環器内科 腎臓内科 リウマチ科)

副院長 **井上 亮**

日本内科学会総合内科専門医
日本リウマチ学会専門医・指導医
日本腎臓学会専門医・指導医



患者さんに寄り添った治療を

当院は1983年に父が開院し、今年で39年目になります。小生は平成31年4月より当院に赴任し外来業務を行っています。

前職では済生会金沢病院で主にリウマチ・膠原病疾患、透析等の腎臓疾患の診療に当たっていましたが、当院では高齢者で2つ以上の慢性疾患をかかえているいわゆるmultimorbidityの患者が多く、できるだけ治療負担を減らして患者のできそうなことを増やせないかということを考えています。そのためには家族状況、生き方、薬や治療に対する考え方など患者さんの背景因子を思い描き、できるだけ患者さんに寄り添った治療を心がけなければと感じています。

また前職では特に関節リウマチに特化した外来を担当していて、生物学的製剤もそれなりに使用経験があり、もしリウマチ患者を御紹介頂けるならば一生懸命対応したいと思っています。

今後ともいろいろご迷惑をおかけするとは思いますが、何卒宜しくお願いします。

小矢部市今石動町1-5-31 TEL 0766-68-0082

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30~12:30	○	○	○	○	○	○
午後	16:00~18:30	○	○	-	○	○	-

(日曜、祝日は休診)



大沢内科クリニック

(内科)

院長 **大澤 謙三**

日本糖尿病学会専門医・指導医



1型糖尿病難民を出さない

大それたキャッチコピーですみません。今の自分の役割を突き詰めて考えるとこうなってしまう。もちろん開業医として一般内科診療、在宅医療や看取りも疎かにしないように努力しています。

富山県の「小児糖尿病サマーキャンプ」は約30年の歴史がありますが、当院は11年前からその事務局です。小中学生から高齢者まで約100名の1型糖尿病患者が、黒部や富山、高岡、氷見、金沢、遠くは名古屋からも来院します。「難民」もいます。1型糖尿病女性の妊娠出産も多数経験しました。

そろそろ体力の限界を感じ始めていますが「1型糖尿病の専門医」がほとんど居ないこの地域で辞めるのは困難です。スタッフ2名は「日本糖尿病療養指導士

CDEJ」です。電子カルテ端末を6台設置して「チーム医療」を行っています。糖尿病学会全国学術集会にシンポジストとして2度招かれましたが、レセプト高点数なので個別指導にも定期的に招かれています。

「持続可能性」を目指して二人目の「1型専門医」を加えさらに「センター化」という異端の開業医になるかも知れません。

砺波市平和町146 TEL 0763-33-1047

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00~18:00	○	○	-	○	○	-

(日曜・祭日は休診)



くぼクリニック

(内科 呼吸器科 麻酔科)

くぼ ひで ゆき
院長 窪 秀之

南砺市医師会副会長



いつもありがとうございます

25年前勤務医を富山市民病院麻酔科で終え、生地ではあるが仕事上は縁もゆかりもない現地で開業した。若くて無知だったので砺波総合病院の院長には挨拶しておかなければと考え、当時の荒川院長の処へ菓子箱を携え半ば強引に挨拶に行った。苦笑しながらも皆に伝えておくという返事だったと記憶している。

以来近所の心筋梗塞の患者を早朝に自家用車で救急外来へ直接運び込んだことや、麻酔は今も続けていていつだったか患者が麻酔中に肺水腫を起こし深夜に砺波総合病院ICUへ救急搬送したこともあった。何れも患者は無事退院でき私自身も救われた。

現在は業務内容が開業当初と大きく変わり産業保健の仕事が増えた。ただ細々とでも外来を続けている限り困った時は病院に頼らざるを得ないし、私の居る福野北部の住民は砺波総合病院が大好きである。これからも今までと同様、患者さんは勿論、私のような町医者にも優しい砺波総合病院であり続けてほしい。

南砺市高儀13-1 TEL 0763-22-7799

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	14:00~18:00	○	○	○	-	○	-

(日曜・祝日は休診)

がん相談支援センターのご案内

当センターでは、市立砺波総合病院に通院・入院されている方だけでなく、砺波医療圏にお住まいのがん患者さん・ご家族・地域の医療機関の方々の相談をお受けしています。主な相談内容は、がんの診断・治療に関することや、医師から受けた説明内容の整理など、療養生活におけるアドバイスをしています。

また、ハローワークや産業保健センターと連携して治療と仕事の両立ができるように支援しています。近年はAYA世代(15歳~30歳)へのがん患者の支援が国を挙げて行われており、当院でも多職種で連携しチームで支援を行っています。

相談は無料です。どうぞご利用ください。



平がん看護専門看護師 西嶋室長 小竹社会福祉士

お問合せは TEL 0763-32-3320(代) がん相談支援センター(南棟2F)

レスパイト入院をご利用ください

当院では在宅療養を支援するため、地域包括ケア病棟でレスパイト入院の提供を行っています。

ご利用 できる方

- 一時的に在宅で介護を受けることが難しくなった方
- 褥瘡処置、吸痰、胃ろう、気管切開、在宅酸素、インスリン注射など医療処置が必要な方
- 退院後、自宅に戻る方

留意点

- 1回の入院期間は原則14日以内です。
- 入院日は、平日となります。
- 入院中に治療や検査、リハビリテーションなどを行うことはできません。
- 入院中の内服薬はご持参ください。
- 定期的にレスパイト入院が必要な場合は、ショートステイなどを上手に併用することをお勧めします。
- 費用は医療保険の適用となります。医療保険証、限度額認定証をご持参ください。1割負担の方が14日間利用した場合の費用は約70,000円です。

ご利用の流れ

まずは地域医療連携室へご相談ください

市立砺波総合病院 地域医療連携室

Tel 0763-32-8361 Fax 0763-33-1591

※受付時間（月曜日～金曜日）8:30～17:15

お申込みは…

次の3点を地域医療連携室へFAXしてください

- ① レスパイト入院申込書
- ② ADL確認表
- ③ 診療情報提供書
（宛先：地域総合診療科 深谷医師 入院目的：レスパイト入院）

※申込者は、かかりつけ医、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、相談支援専門員、地域包括支援センターのどなたでも結構です。

※お申込みは、基本的に入院ご希望の1ヶ月前までをお願いします。

ただし、急なご入院でも対応できる場合があります。お困りの際はご相談ください。



お申込みから1週間以内に、
受け入れ日時等を連絡します



看護外来のご案内

専門的な資格や技術をもった看護師が「病気とともに自分らしく生きる」みなさまを支援します。

※外来受診されている方が対象となります。

事前予約制ですので、ご利用を希望される場合は受診科の医師・看護師へご相談ください。



今回は、全8外来のうち次の1つをご紹介します

フットケア看護外来

栄養・嚥下ケア外来

認知症看護外来

手術サポート外来

リンパ浮腫外来

ストーマ・スキンケア外来

糖尿病看護外来

リウマチケア外来

リウマチケア看護外来



日本リウマチ財団
リウマチケア看護師

部長代理 今井 さおり

Imai Saori

担当看護師	今井さおり
看護外来日	火曜日(第2・4週)14:00~16:00 ※予約制
場所	南棟 2階 看護外来室
費用	【関節リウマチ・骨粗鬆症自己注射指導の場合】 在宅療養指導料 170点(3割負担:510円)
対象	・関節リウマチと診断された患者さんやご家族 ・骨粗鬆症や痛風と診断され治療を受けている患者さんやご家族
内容	・治療法や治療にかかる医療費の相談 ・生活する上での様々な問題の相談 ・自己注射指導 ・日常生活指導

平成27年度から「リウマチケア看護外来」を担当しております、リウマチケア看護師の今井さおりです。

リウマチケア看護外来では、治療法や医療費の相談のほか、生活する上での様々な問題について、ゆっくりとお話をお聞きし、解決するお手伝いをいたします。患者さんだけでなく、介護されているご家族もお気軽にご相談頂き、患者さんにご家族が安心して生活が送れるようサポートいたします。

また、関節リウマチだけでなく骨粗鬆症や痛風などのご相談も受け付けています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



地域医療連携セミナー2021を開催しました

令和3年12月22日に、当院3階講堂において地域医療連携セミナーを開催しました。年末のご多忙な時期にもかかわらず、会場とzoomによるWEB参加を合わせ約80名の方が参加され、開業医の先生方からも貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。



● 新任医師紹介

● 講演1「当院の循環器疾患治療～2021年を振り返って～」

演者：循環器内科部長 鷹取治

循環器内科の治療件数・動画によるカテーテル治療の実際、新たな循環器疾患治療薬について紹介

● 講演2「当院における乳がんチーム医療」

演者：乳腺センター所長 野崎善成

乳房再建術に対する乳がんチーム医療としての取り組みと、

遺伝性乳がん・卵巣がん症候群に対する遺伝学検査と治療について紹介

編集後記

新年おめでとうございます！令和4年は雪の降る中の年明けとなりましたね。

さて1月9日(日)には、砺波市文化会館大ホールにて、成人式が開催されました。当日は小雨の降る少し肌寒い日でしたが、昨年のような大雪とならず胸をなでおろされた親御さんも多かったと思います。会場の雰囲気はといいますと…華やかな振袖姿(ママ振袖も目立ちましたね)や慣れないスーツ姿の新成人で賑わっていました。

ランドセルの方が大きかったあの子達が、こんなに立派になって(もう誰が誰だかわからない(笑))と、心から嬉しく思い、その姿に癒やされる時間を過ごしました。その日は私たち親も日本酒で乾杯です。自分たちにもご苦労様ですと…新成人の皆さん、悩みながらも、未来に向かって突き進んでほしい！頑張れ！(S.S)



「おあしす連携だより」に関するお問い合わせは、地域医療連携室までご連絡ください。

TEL 0763-32-8361 FAX 0763-33-1591 メール tgh-renkei@med.tonami.toyama.jp